

中学受験に向け、志望校の選定に役立つ情報  
～希少ではあるが、国公立大と早慶上智の両方に強い二刀流校がある～

●志望校の選定

志望校の選定を行うためには、

①わが子の学力と体力を考慮し、学校の偏差値と通学時間で志望校を絞り込みます。志望校の偏差値は、入試までの時間にもよりますが、あまり高すぎても低すぎてもいけません。

→②学校の偏差値と通学時間だけでなく、男子校・女子校・共学校、進学校・半附属校、私立・国立・公立などの選定要素も加味します。

→③わが子を伸ばしてくれるかどうかを以下の「学力を伸ばしてくれる学校」で志望校をさらに絞り込みます。

→④わが子の性格や家庭文化に合っているかどうかを、文化祭・説明会で絞り込みます。学校を訪問し、学校を比較することでわが子に合うかどうかは、分かると思います。

このような順序で行えば志望校選定で失敗することはないと思います。

●国公立大を対象大学とした「学力を伸ばしてくれる学校」

国公立大は理系学部で強く、就職でも有利です。理系女子が増えていることから国公立を狙う女子も増えているようです。東大～東工大を除く、合格者数が多い大学や地域の代表的な大学を中心に選定し、首都圏の人気国公立大として「学力を伸ばしてくれる学校」を分析できるようにしました。

●首都圏人気国公立大以外の「学力を伸ばしてくれる学校」

難関校や中堅・中下位校の「学力を伸ばしてくれる学校」を調査するためには「東大～東工大」や「GMARCH」を対象大学とした分析が必要です。興味のある方は、森上教育研究所のホームページ→親スキル研.COM→お役立ち情報→2016年「学力を伸ばしてくれる学校」をご覧ください。

●「学力を伸ばしてくれる学校」の探し方

下記の「学力を伸ばしてくれる学校」掲載リストをご覧ください。リスト（アイウエオ順）に、お子さんの第一志望校がありましたか？掲載していない学校は学力を伸ばし切れていない学校ということになりますが、掲載している学校と同じくらいの数があります。

さらに詳しいデータをご覧になりたい場合は、森上教育研究所のホームページ→親スキル研.COM→お役立ち情報→人気国公立大の偏差値範囲表で、下記リストの「学校NO」を使用し、調査してください。

●早慶上智と人気国公立大の両方に強い二刀流校

子どもの将来を考えて志望校を選ぶべきですが、中学入学時から文系・理系向きかを判断することは難しいようです。いざ、大学受験となった時に、理系志望なのに在籍校が国公立や理系大学に弱い学校であった場合、子どもの将来にとって大きな損失となります。できれば、早慶上智と人気国公立大の両方に強い学校を志望校にしたいものです。

早慶上智と人気国公立大を対象とした分析では、早慶上智の合格実績は中学受験の偏差値でほぼ決まる学校が多く、人気国公立大の合格実績は、学校によって人気国公立大の合格を重視しているかどうかによって特色が出るということが分かります。また、早慶上智を対象とした学校で、顕著・最大に「学力を伸ばしてくれる学校」は、伝統のある女子校が多く、人気国公立大では共学校や公立中高一貫校が多いようです。

早慶上智と人気国公立大の両方に強い二刀流校はあるのでしょうか？下記の「学力を伸ばしてくれる学校」掲載リスト（五十音順）をご覧ください。男子校・共学校では、17校（公立中高一貫校6校含む）が早慶上智と人気国公立大の両方で顕著に「学力を伸ばしてくれる学校」または最大に「学力を伸ばしてくれる学校」となっています。同様に、女子校・共学校では、22校（公立中高一貫校7校含む）が早慶上智と人気国公立大の両方で顕著に「学力を伸ばしてくれる学校」または最大に「学力を伸ばしてくれる学校」となっています。

早慶上智と人気国公立大の両方が、最大に「学力を伸ばしてくれる学校」となっているのは、男子校・共学校では、神奈川県立平塚・帝京大学・宝仙学園が、女子校・共学校では、淑徳・帝京大学・桐朋女子・神奈川県立平塚・宝仙学園が、二刀流校といえます。男子校は皆無で、共学校がほとんどですが、女子校では桐朋女子が唯一の二刀流校です。

